

曙杉



東神吉っ子

「すすんで考える子」

「こころ豊かな子」

「強くたくましい子」

No.11

令和4年10月27日

加古川市立東神吉小学校

実りの秋（4年生稲刈り）

10月14日（金）秋晴のもと町内会長さんをはじめ地域のみなさんのご指導の下、4年生による「稲刈り」が行われました。今年のもち米作りは地域の方のおかげで、害虫や病気にやられている稲もなく、雑草も丁寧に処理されていて、たくさんの収穫が見込めそうです。

数日前の雨の影響で少し水の浮いた田んぼは、子どもたちの足を捕まえなかなか放してくれません。履物が抜けずに尻もちをついたり、体中泥だけにしたりしながら、慣れない手つきで鎌を扱い刈っていきます。鎌の扱いが危なかった子やなかなかうまく移動できない子もいましたが、やっているうちにどんどん手馴れて、しっかり収穫できました。

収穫した稲穂はしばらく田んぼで干して乾かし、脱穀を行います。それまでは、みんなで作った「かかし」がしっかり見張りをしてくれます。まだまだ「もち米づくり」の学習は続きます。



芸術の秋 東神吉は音楽の秋!!

スポーツの秋、食欲の秋、読書の秋などさまざまな秋があります。暑かった9月と変わり過ぎやすくなり、いろんなことにチャレンジできる、そんなシーズンになりました。

その中でも東神吉小学校の10月はまさに「芸術の秋」そして「音楽の秋」でした。

9月に入り、音楽の授業で「音楽発表会」に向けて各学年本格的に練習が始まりました。コロナ禍のため、合唱はリスクも大きいので合奏のみで、それでも楽器によっては飛沫が…といろいろな感染予防対策を講じながらの取り組みです。10月に入ると体育館に楽器を移動し、演奏練習にも熱が入ってきました。体育館からは毎時間、それぞれの学年の演奏の音が流れてきていました。

昨年は、多目的室で子どもも保護者も入れ替わり制で行いましたが、全ての学年の頑張りを見ていただきたくて、今年は体育館で実施しました。

音楽発表会に先立って、14日（金）4年ぶりの芸術鑑賞会として 想咲太鼓打ち 溝畑健太さんを迎えました。子どもたちは、和太鼓の勇壮な演奏と迫力の音に圧倒され、全身でその振動を感じていました。思いを音に載せどう表現するのか、音楽発表会の大きなヒントをもらいました。



和太鼓の刺激を受け、19日（水）にはリハーサルでもある校内音楽発表会を催しました。他の学年の演奏を目の前で聞き、自分たちの演奏を披露します。それぞれの学年の頑張っている姿を見て、さらに練習に熱が入ります。

25日（火）、いよいよ本番です。朝から冷たい雨が降りましたが、登校するところにはいいお天気になり、たくさんの保護者の方に観覧していただきました。子どもたちは、たくさんのカメラに

緊張しながらも練習の成果を十二分に発揮して、どの顔もやり切った充実感にあふれていました。

特に6年生は、小学校最後の音楽発表会でした。合奏のあと、今まで自分たちを支えてくれ家族の方たちに思いを込めたメッセージを届けました。保護者の方からも子どもたちへメッセージや声掛けをよろしくお願ひします。

